

無所属 西東京市議会議員

森てるおの なんでもりポート 第20号



2004年5月発行（隔月発行） 定期購読料：年間1,000円（送料含む）
編集：森てるお事務所 発行：森てるおと市民の目

森てるおが考える「議会改革」の二つの視点

議会改革というと話が難しそうだとか、議員の仲間うちの話だとか思われて、敬遠する向きがあります。確かに、議会の中だけでしか通用しないことや、議員の特権に根ざした部分的変更を称して「議会改革」といつている場合もあります。しかし私の議会改革は、議会は市民にとってどうあるべきものなのか、その実現に必要な事をやりましょうというものです。

* 議会は市長の幫間（たいこもち）か？

議会というと、与党だ、野党だと勢力争いばかりやっているものと思っている方も多いことでしょう。そう思わせてしまっている政治の貧困を「改革」しなければなりません。

地方自治体では市長と議員はいずれも市民が直接選挙で選ぶ二元代表制を採用しています。両方が相互にけん制し合って、バランスを保とうという考えに基づくものです。だから本来、地方政治では「与党」はあるはずがないものです。しかし現実には、市長が持っている大きな権限を自分に有利に使おうとして「与党」を作り、そこに加われなかった者が野党を作り市長の権限の奪い合いをするという、冒頭のおなじみの光景が出現するわけです。

市長にとって議会で何事もなく議案を通すことができるのは魅力ですし、与党には市長の権限を使って自分と支持者のおねだりを実現できるうまみがあります。その行き着く先が、野合、談合の「総与党化」でした。しかし、金の切れ目が縁の切れ目、今や自治体には総与党にいい顔を出せるほどのお金がありません。先進的な市長はおねだりを拒否して与党と距離をおき始めています。「市民参加を経て提案するから、議会で是か非かを判断してください。」というわけです。市民の意見を一部取り入れ、市民提案を装って議会の議論を封じようとする意図は見え見えなのですが、相互けん制という点では大きな前進です。議会改革のひとつは、行政と議会の間にも適正な距離を作ることです。先進的な市長の側からこの動きが始まっています。歓迎です。

* 仕事をしない議員には一円だってやりたくない！

二つ目は、議員報酬の話です。昨今、議員報酬を引き下げるべきだという意見が広がっています。たいした仕事もしないのに報酬が高すぎるという指摘です。報酬を給料と考えれば、私も高いと思います。しかし、たとえば私の活動費はその中から出ています。報酬が少なくなれば活動に支障が出てきます。肝心なのは議員へのお金の出し方です。活動のための費用は出すが、生活費は平均給与と並にしか出さないということではないのでしょうか。

今の報酬は活動しないことを奨励するシステムになっています。活動する議員の生活費はどんどん目減りしていくのに、活動しない議員は全部をポケットマネーにできます。こんなシステムをそのままにして報酬を引き下げると、活動することが困難になって、何も活動しない者を税金でただ飼っている状態になってしまいます。（裏面に続く）

食い扶持だけを与えて飼育しにするのが市民の利益になるのでしょうか。お金を渡す以上仕事をしてもらおうのが当然です。私は活動しない議員には報酬どころか1円のお金だってやりたくありません。

また、引き下げの程度によっては、報酬以外で生活できる者しか議員になれなくなります。これも市民の利益に反することです。誰もが議員になれて、同時に仕事をやらざるを得ないシステム、どんな仕事をしたのかを評価できるシステムを作ることが必要です。つまり、生活は保障しつつ仕事をさせる、そのために必要なお金は経費として保証する、民間でやっている当たり前のことをやればいいのです。ただ、何が議員の活動かは議員自身の判断にゆだねるべきです。市民には4年ごとに議員を評価する機会があります。それを活用すれば議員の淘汰は可能です。

私は、必要なお金は渡すが、不要なお金や、不適当なお金は渡さないという考えを自分にも当てはめて、一部事務組合や行政委員会の報酬については受け取りを拒否しています。二重報酬は「もらう議員としての私」にはありがたい話ですが、「払う市民としての私」は納得できません。

議員は市民の側に立つのが当然です。

報酬の出し方を通じて活動する議員を作り出す、そんな議会改革が必要です。

議員年金のはなし

国会議員の年金が問題にされています。地方議員の年金はどうでしょうか。

議員年金は共済年金で、西東京市の場合、月額報酬49万5千円のうち掛け金は6万5千円（年額78万円）、ボーナス分で年額約14万円です。12年間在職すると65歳以降の退職時から受給できます。基礎年金も合わせて受給できます。受給金額は在職12年で年額160万円です。以後1年在職期間が増すごとに年額で3万2千円ずつ増えていきます。7年程で給付額が掛け金額を上回ることになる、大変有利な制度です。三多摩の議員仲間では、「基礎年金は税金でまかない、議員年金は厚生年金、共済年金と同じ上乘せ部分にしよう」という考えが大勢を占めています。

年金は掛けています。厚生年金と合わせて29年、ここ20年ほどは国民年金です。学生などで定収がなかったころには未払いです。満額の基礎年金はもらえません。私は受給権がありますが、無年金者が出てしまう制度上の欠陥があるのです。自治体としてもこの辺は対策を考えていく必要があるのではないかと思います。

森てるおの料理メモ

しばらくぶりの料理メモ。朝の忙しい時間、お弁当を手早く作るのには炒め煮なんかいいですね。私は中華なべを使います。

少量のひき肉、ちくわ、きのこ類、にんじん、今の時期ならインゲンなどを、5センチの長さで切りそろえて短冊切りか拍子木切りにします。それらを炒めたあと少量の水かお湯を注しひと煮立ちさせたらみりん（お酒）醤油で味をととのえ片栗粉の溶き水をまわしかけてとろみをつけたら出来上がりです。ちくわを一本、のこりの材料はそれに合わせて好みで適量にします。

森てるおの活動記録（2004年3～4月）

主なものを掲載しています。

3月3日	3月定例議会（～29日）	4月2日	住基ネット連絡会 / 日の丸君が代連絡会
9日	一般質問 / インターン生研修受け入れ	6日	栄小学校入学式
10日	予算特別委員会（補正）（～11日）	13日	駅頭宣伝活動（～27日）
13日	環境施設帯協議会	15日	議会報編集委員会
16日	建設環境委員会	16日	都市計画審議会視察（大泉ゆめりあ）
17日	駅周辺再開発等特別委員会	18日	環境施設帯協議会対策会議
18日	予算特別委員会（2004年度当初）（～24日）	27日	東大農場遺伝子組み換え栽培説明会
30日	土地開発公社評議会	28日	都市計画審議会